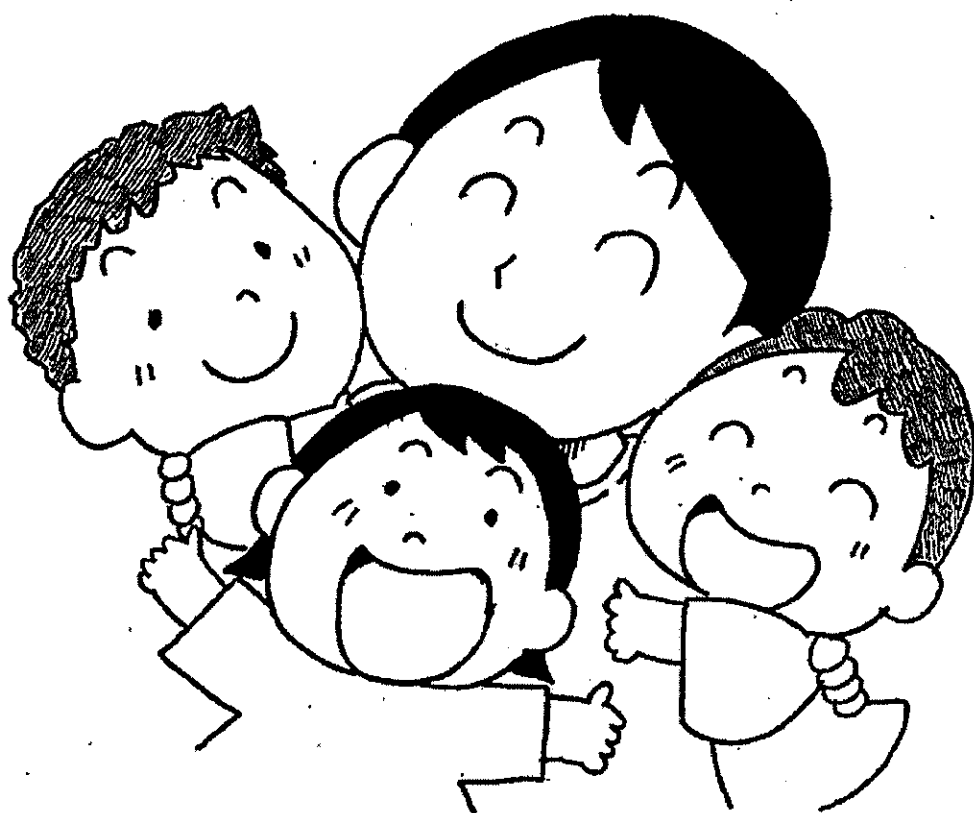


公立こども園自己評価表



豊中市

豊中市:公立こども園自己評価表について

1. はじめに (背景及び趣旨)

公立こども園は、子ども・子育て支援新制度に合わせ、公立幼稚園7園と公立保育所19園が平成27年度(2015年度)から幼保連携型認定こども園に移行しました。同時に「豊中市立幼保連携型認定こども園 全体計画」を教育・保育の基本に据え、めざす子ども像を『人とつながり生きる力の基礎を培う』こととし、「健やかな心と体をもつ子ども」「主体的に考え、行動する子ども」「豊かな感性をもつ子ども」「自分なりに表現する子ども」を4つの柱に、教育・保育の充実に向け取り組みを進めています。全体計画の位置づけでは、子ども健やか育み条例、人権保育基本方針の趣旨のもと、子ども一人一人の人権を大切にすることとしており、人権教育・保育を一層推進していく必要があります。

次に、公立こども園のあるべき姿として、『公立こども園の適正配置に向けた基本方針』を平成28年(2016年)9月に策定しました。基本方針では、「こどもすこやか育みプラン」における、①ベンチマーク機能②人材育成機能③セーフティネット機能④地域子育て支援機能の4つの役割が位置づけられ、公立こども園は、子育て子育ての発信基地として、市域全体に教育・保育の質を高めていきます。

国においては、平成30年度(2018年度)に、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂がなされました。特に、小学校への円滑な接続のために必要な力としては、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と謳われております。その姿を到達目標ではなく方向性として捉え、乳幼児期に育まれた力が、小学校以降の学びの基礎に繋がっていくことや乳幼児期の育ちの重要性として、環境に関わって子どもが主体的、対話的で深い学びができるような教育・保育を重ねる必要性も示されています。

これまで公立こども園で取り組んできた人権教育・保育と新しい学びについて職員の理解がより深まるよう、上記改訂を見据え、平成29年度(2017年度)公立こども園の園長、副園長を中心に『公立こども園の自己評価表』を検討してまいりました。

2. 目的

- 自己評価表を保育教諭等が活用することで、日々の保育やカリキュラムの点検・振り返り・改善を行います。
- 自己評価表を活用しながら、保育のPDCAサイクルを重ねていくことで、自己課題や保育課題を明らかにし、保育力をステップアップさせます。
- 自己評価表のチェックを分析しながら、同僚の職員や主任、副園長、園長などに相談したり、課題整理に活用したりして、自分のキャリアアップにつなげていきます。
- 職員が共に保育課題を共有することで、園全体のチームワークが高まります。

《活用方法》

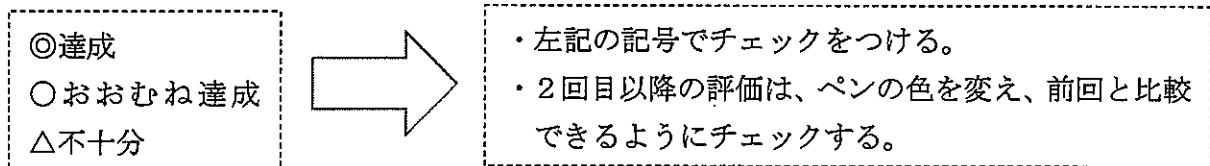
○年に最低2回は、自己評価を行う。

(例えば、6月 2月 又は学期ごと)

○項目に記載している内容は、詳細項目に分類されている。

1→2→3と進めていく。(1. 最低限と考える)

○詳細項目に自分の保育が達している場合は、右端の評価の欄に、◎○△を記載する。



- *各項目の具体内容は「幼保連携型認定こども園関係資料」を読み直し、点検すること。
- *職員会議や保育内容会議などで、自己評価表を職員間で活用し学びにつなげること。
- *各職員の自己評価が園全体の評価につながることを認識し、教育・保育の質の強化を図ること。

参 考

豊中市子ども健やか育み条例・子どもの健やかな育ちの推進にかかる基本理念

- ・子どもの人権の尊重をすべての取組みの基礎とする
- ・子どもの年齢及び成長に応じ、その思いや意見を尊重し、子どもにとっての最善の利益を実現するために必要なことを子どもと大人が共に考える
- ・子どもが自らの個性や能力を最大限に発揮しながら成長できるよう、子どもの力を信頼し、または認めるとともに、その個性や能力を発揮することができる機会を提供するほか、必要な支援を行う

豊中市人権保育基本方針の基本理念

一人一人の人権を大切にする保育

「子ども一人一人の願いや、思いが大切にされる保育」

「自尊感情を育む保育」

「仲間との豊かな関係で輝いて生きる保育」



自己評価で保育スキルを深めることで、育ち・学びを支える力の向上につながり保育力が高まることで、子どもの育ちの礎となり、保護者支援・地域支援に結びついていきます。自己評価の向上が各自の自己肯定感や仕事の生きがいにつながることを願います。
(編集後記：自己評価表策定委員会)

第1章 総 則

1. 幼保連携型認定こども園における教育及び保育の基本及び目標等

幼保連携型認定こども園(以下こども園)

1-1

① 教育及び保育の基本

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 こども園は、幼保連携型認定こども園法(就学前の子どもに関する教育及び保育等の総合的な提供の推進に関する法律)に基づいていることを認識している	<ul style="list-style-type: none"> 幼保連携型認定こども園教育・保育要領を、保育の基礎とし、必要な知識及び技術を身につける必要性を感じている 認定こども園法を理解している <ul style="list-style-type: none"> 第2条・第9条は教育保育の目的 第10条は、教育課程、教育保育の内容の基準 	
2 入園してから修了するまでの在園期間全体を通して、乳幼児期にふさわしい生活を営むことができるように保障している	<ul style="list-style-type: none"> 入園時期、在園時間の違いに関わらず、園児の状況に応じた教育・保育を行っている 遊びや生活を通した総合的な場を提供している <ul style="list-style-type: none"> 園児一人一人にとってふさわしい生活の場 主に同年代の園児との集団生活を営む場 園児を理解し適正な援助を行う保育教諭等と共に生活する場 	
3 保護者や地域の実態を踏まえ、環境を通して行うものを基本とし、園児の生活全体が豊かなものとなるように努めている	<ul style="list-style-type: none"> 意図的・計画的な環境(人・物)の構成を行っている 保護者・地域のニーズや課題を的確に把握している 園の保育を保護者や地域に発信し、相互に理解を深めている 	

② 教育及び保育の基本

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 園児の主体的な活動を促し乳幼児にふさわしい生活が展開されるように、配慮している	<ul style="list-style-type: none"> 活動の主体は園児であり、園児が心地よい、園を好き等、情緒の安定ができる生活空間を保障している 園児との信頼関係を築き、気持ちや思いを受容する保育を心掛けている 	
2 園児の特性や発達の過程に応じ、発達に即した指導を計画的に行うようにする	<ul style="list-style-type: none"> 園児一人一人の個性を損なわないように援助している 園児は家庭環境や生活経験の違いから人や物事への関わり方、環境からの刺激の受け止め方等が異なっていると認識している 一方的に知識や技能を与えるものではなく、助言・指示・承認・共感・励まし等の関わりが基本だと認識している 	
3 周囲との信頼関係に支えられた生活の中で、活動に取り組む体験を十分に積み重ねられるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画に示すねらい及び内容が総合的に達成されているか、常に振り返りを行っている 充実感や満足感が味わえるような豊かな体験ができるよう、意図的に活動を工夫している 	

1-2 教育及び保育の目標

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 こども園の生活を通して、生きる力の基礎を育成するよう、園児に合わせた教育及び保育の目標を設定している	<ul style="list-style-type: none"> 適切な環境の下で、具体的な目標を立てている <ul style="list-style-type: none"> 0歳児の三つの視点 <ul style="list-style-type: none"> 「健やかに伸び伸びと育つ」 「身近な人と気持ちが通じ合う」 「身近なものに関わり感性が育つ」 1歳児以上の五つの領域 <ul style="list-style-type: none"> 「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」 	
2 子どもの最善の利益を考慮しつつ、保護者と共に園児を心身ともに健やかに育成している	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの人権を尊重しながら、主体性や積極性を引き出す関わりをしている 家庭との連携を十分図り、個々の園児に対する子ども理解を深めている 	
3 乳児期からの発達や学び、生活の連続性を考えて教育及び保育を展開している	<ul style="list-style-type: none"> 0歳児から小学校就学の始期に達するまで、全体を見通すつながりの重要性を認識している 保護者に園児の育ちや姿を丁寧に発信している 	

1-3 教育・保育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(以下10の姿)

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 こども園では、遊びを展開する過程において資質・能力及び10の姿について必要性を認識している	<ul style="list-style-type: none"> 3つの資質・能力は「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」と理解している 10の姿を知っており、到達目標でなく方向性であることを理解している 	
2 資質・能力及び10の姿を意識した教育・保育を展開している	<ul style="list-style-type: none"> 非認知能力(自尊心・目標持続力・社交性等の力)を育む重要性を理解している 遊びや生活を通して、3つの資質能力と10の姿を根底に置き、豊かな実践を行っている 	
3 資質・能力及び10の姿を一体的に育むよう努めている	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な実践における園児の具体的な姿から振り返り、教育・保育の充実に努めている 保護者や地域の意見を取り入れながら、非認知能力の育成につながるような活動を意図的に反映している 	

2. 教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画等

2-1

① 教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画の作成等

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 こども園は、「教育基本法」「児童福祉法」「認定こども園法」「幼保連携型認定こども園教育保育要領」「豊中市立幼保連携型認定こども園全体計画」に従い、各園の全体計画を作成する必要性を自覚している	<ul style="list-style-type: none"> 法律や要領及び豊中市立こども園全体計画との内容に整合性があることを理解している こども園が持つ役割(教育・保育・子育て支援)に応じた取り組みの必要性を認識している 	
2 教育及び保育を一体的に提供するために、家庭及び地域の実態に即応した適切な指導計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> 園児の生活経験や発達の過程等を考慮している クラス懇談や個人懇談等で家庭の状況を把握し、全体計画に基づいた月案・週日案等を作成している 	
3 全体的な計画に基づき、組織的かつ計画的に教育・保育活動の質の向上を図っていくこと(カリキュラムマネジメント)に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 園児の姿や地域の実情等を踏まえつつ教育課程を編成している 各種指導計画の計画、実施、評価、改善の必要性(PDCA)を自覚し実践している 	

※豊中市では全体的な計画を「豊中市立幼保連携型認定こども園 全体計画」とする。(以下全体計画)

② 教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画の作成等

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 育みたい資質・能力を踏まえつつ、基本的な方針を保育教諭等で確認している	<ul style="list-style-type: none"> 基本理念や子ども像を理解し保育教諭等で共有している 	
2 乳幼児の発達や学び、生活の連続性の観点から作成した全体計画を、保育教諭等や保護者及び地域で共通理解を深めている	<ul style="list-style-type: none"> 子ども理解(発達・背景・家庭環境・個性等)に基づき計画を立てている 園児の実情(在園時間・集団生活の経験年数・時期)に応じた計画になっているか、日々保育の中で点検し配慮している 全体的な計画(園の方針や理念等)を保護者や地域と共有できるように分かりやすく説明をしている 	
3 入園から修了に至るまでの具体的なねらいと内容に留意し指導計画等を作成している	<ul style="list-style-type: none"> 長期的な視点で、園児の遊びや生活の内容を充実させ、主体的対話的で深い学びにつなげている 食育・保健・安全等の計画や子育て支援事業と連動しながら保育実践を進めている 	

2-2 小学校教育との接続に当たっての留意事項について

① 学びの芽生えと自覚的な学び

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 乳児期から児童期への発達の流れを理解し、成長過程でどのような力をつけていくことが大切かを理解している	<ul style="list-style-type: none"> 各歳児での『10の姿』を見通し、活動や遊びを考えている 生活・活動・遊びが園児主体で展開されているかを常に意識して活動を進めている 	
2 小学校生活や学習の基盤の育成につながることを考慮し、教育及び保育の内容を職員間で議論している	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議・公開保育等を通して職員間で議論したことを踏まえ、子ども理解を深めている 	
3 小学校教育への接続を見通した、創造的な思考や主体的な生活態度等の基礎を培うような工夫を図っている	<ul style="list-style-type: none"> 学びの芽生えと自覚的な学びをつなぐスタートカリキュラムを理解し、環境を通じた教育・保育を進めている 意欲、物事に積極的に取り組む力、協同して遊ぶ力を育む経験を積み重ねられるようにしている 学びの連続性を意識した一貫した教育・保育を行っている 	

② 交流・連携

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 園児の就学先や現状を共通理解した上で園児と小学校児童の交流の機会を設けている	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の思いを聞き取りながら一人一人の就学先を把握している 園同士連携したり、同じ小学校に行く園児をつないだりしている 園児と児童の交流の機会を設け実践交流していく中で、教員との意見交換等を行っている 	
2 小学校との意見交換や授業(保育)参観等を通して、子どもの現状を互いに共通理解している	<ul style="list-style-type: none"> 公開授業やオープンスクール等に参加し、就学後の園児の状況を把握しようと努めている 幼保小連絡会・連絡協議会に参加し、意見交換や情報共有を行っている 	
3 小学校教育との円滑な接続を図るような教育・保育に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 就学に向けて園での具体的な園児の成長の様子や働きかけの意図を小学校に伝え、引継ぎを行っている 保護者・就学先・園が連携しながら園児の成長を見守っている 	

2-3 指導計画の作成と園児の理解に基づいた評価

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 園児の発達に即して、一人一人が乳幼児期にふさわしい生活を展開できるよう、指導計画を具体的に作成する	<ul style="list-style-type: none"> 人・物との関わりの中で、園児が興味関心を示すような環境設定を考慮している 活動の中で園児達にどんな力をつけたいのか、ねらいを可視化しはつきりとさせている 	
2 指導計画を基に、園児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現するように努めている	<ul style="list-style-type: none"> 一つ一つの体験が相互に結び付き、こども園の生活が充実するように配慮している 園児が周りの人と関わり、主体的・対話的な活動ができる時間や・空間を確保している 	
3 常に指導計画の評価を適切に行っている	<ul style="list-style-type: none"> 計画・実践・評価したことが、次の課題につながり、指導計画の改善を図っている(PDCAサイクル) 園児の活動の展開に応じて、援助・環境の再構成を行っている 	

2-4 特別な配慮を必要とする園児への指導について

① 支援

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 個々の障害の特性や、その子が必要としている支援を理解している	<ul style="list-style-type: none"> 障害に関する知識や配慮等、正しい理解と認識を深めている 発達の姿を基に個々の育ちを確認している 園児が何に困っているのかを理解し、支援の方法をクラスの中で話し合い共有している 	
2 障害の状態等に応じた指導内容や指導方法を工夫している	<ul style="list-style-type: none"> スモールステップとしてねらいを立て、常に支援の方法をクラスで確認しながら、実践している 指導計画は、期ごとの評価・反省を踏まえ、具体的な課題やねらいを立てている 	
3 長期的な視点で、支援の必要な園児の指導を、計画的、組織的に行っている	<ul style="list-style-type: none"> 園児に対して同じ対応ができるように、職員間で支援方法を共有している 支援が必要な園児と周りとの関係を含めたねらいや課題は園全体で共有し修正を行っている 	

② 保護者支援

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 園児の育ちを把握し、保護者と共に支援の方法を考えている	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の思いや願い、悩み等を受け止め、支援計画を保護者と共に作成している 	
2 園児の育成に見通しを持ち、必要に応じて関係機関と連携している	<ul style="list-style-type: none"> その園児の教育・保育を進めていく中で、悩みや相談事などがあれば関係機関に相談し専門的な知見を取り入れている 研修を通して専門的な知識向上に努めている 保護者・関係機関・園の三者が連携し、情報共有しながらその園児の支援に活かしている 	
3 園児の課題について、関係機関と連携しながら、保護者支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 長期的な目標を基に、定期的に保護者と支援計画について話し合っている 就学に向けて保護者のニーズを確認し小学校等につないでいる 意識して保護者同士のつながりを作っている 	

③ 共に育つ

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 「共に育ち合う」ことを意識して活動を組み立てている	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラスの中にその園児の居場所がある ・ 保育教諭等がパイプ役になって、園児同士の知り合う機会を意図的に作っている 	
2 様々な活動の中で「共に育ち合う」ことを意識して言葉掛けや働き掛けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一緒に楽しむ方法を周りの園児達と共に考えている ・ 違いを認めながら園児が納得できる方法を考えている 	
3 保護者に理解できるように取り組みを周知している	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間と一緒に考えたことや育ってきた姿を、様々なツールで保護者に伝えている ・ 仲間とつながる姿や相手を思いやる気持ち、最後まであきらめない姿等、園児達の成長を保護者と共有している 	

3. 幼保連携型認定こども園として特に配慮すべき事項

3-1 養護

① 生命の保持

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 生理的欲求を十分満たし、快適に且つ健康で安全に過ごせるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受容的で応答的な関わりを通し、生理的欲求を満たしている ・ 発育・発達状態・家庭状況・健康状態を把握(検温・視診等)し、異変を感じたら速やかに対応している ・ 疾病予防や事故防止に努めている 	
2 清潔で安全な環境を整え園児が意欲的に生活できる等適切に援助する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣(食事・排泄・睡眠・衣類の着脱・身の回りの清潔等)の習得の際に、押し付けではなく自己選択できるような関わりを行っている ・ 安全点検表を活用しながら対策を講じ、安全・安心な環境の維持向上を図っている 	
3 園児の疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な環境の維持及び向上に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事故防止や感染予防に心掛け、保護者に適切な情報を伝え、啓発している ・ 家庭や学校園医等と連携しながら健康増進が積極的に図られるようにしている 	

② 情緒の安定

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 保育教諭等との信頼関係を基盤に、園児が安定感を持って過ごせるよう心掛けている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園児一人一人の人格を尊重している(生命の尊厳) ・ 発達の過程、在園時間等に応じて、適切な食事や休養が必要であることを理解し対応している 	
2 環境(人・物)を整え、継続的な信頼関係作りをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園児の自発性や探索意欲が高まるような環境設定を行い見守っている ・ 園児の要求に応答的な触れ合い(優しいまなざし・笑顔・温かなやり取りやスキンシップ等)や言葉掛けを行い、信頼関係を築いている 	
3 園児が同年齢や異年齢の友達の中で、自分を肯定する気持ち(自己肯定観・自己有用観)が育まれるように適切に働き掛ける	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な活動の展開に応じて、環境の再構成を行うことで、主体的な活動が広がるようにしている ・ 友達と認め合う経験ができる環境を整え、一人一人が自信を持てるように働き掛けている 	

3-2 集団生活の経験年数が異なる園児

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 集団生活の経験年数が異なる園児がいることに配慮する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人の園児の生活や経験・発達過程を把握している ・ 集団生活の経験年数の違いが、様々な姿として現れることを配慮し関わっている 	
2 子どもの発達の連続性を考慮して、0歳から小学校就学前までの一貫した教育及び保育を展開できるようにする	<ul style="list-style-type: none"> ・ 状況に応じた柔軟で応答的な環境の構成を行っている ・ 満3歳以上の園児については、互いのよさに気付き協同的な活動を通して成長できるような遊びを提供している 	
3 様々な年齢の園児の発達の特性を踏まえ、豊かな体験を積み重ねている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園児の具体的な興味・関心・発達の実態をきめ細かく把握し、5領域に基づき、総合的な遊びを工夫している 	

3-3 在園時間の異なる多様な園児(1号・2号)

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 園児が共に過ごすことを踏まえ、園児に不安や動揺を与えないように配慮する	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の1日の生活リズムや在園時間を把握している 担当保育教諭等が変わる場合には、具体的な引継ぎを行い連携を図っている 	
2 適切な調和のとれた環境の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> 活動と休息、緊張感と解放感の調和を図っている 家庭的な雰囲気をつくろぐ場も大切に、発達に応じ個々で取り組める遊びの環境を構成している 	
3 園児の生活が安定するよう、生活の連続性を確保し、1日の生活リズムを整えている	<ul style="list-style-type: none"> 興味や関心に応じ、遊びの充実につながる環境を整えている(材料や道具・場所等) 園児の1日の生活リズムが整えられるよう、園での環境と家庭環境をつないでいく工夫をしている 	

第2章ねらい及び内容並びに配慮事項

- ・ 乳児期の園児の保育
- ・ 満1歳以上満3歳未満の園児の保育
- ・ 満3歳以上の園児の教育・保育

教育及び保育の内容

1. 健康

① 健康な心と体

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 生活や遊びの中で様々な活動に親しみ体を動かそうとする意欲を育てる	<ul style="list-style-type: none"> 園児の慣れ親しんでいる遊具等を通して一緒に遊んでいる 走る・跳ぶ・登る・押す・引っ張る等の全身を使うような遊びを意識して保育している 	
2 様々な活動の中でしなやかな心と体の発達を促している	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒にすることが心地よいと思えるように仲立ちをし、活動を展開している 心と体の調和を取りながら安定感を持って活動できるようにしている 	
3 友達と共に、自ら体を動かそうとする意欲が育つように働き掛けている	<ul style="list-style-type: none"> 身体の調和的な発達を促すため、十分に全身を動かし、活動意欲を満足させる体験を積み重ねるようにしている 友達と一緒に能動的に環境に関わる中で伸び伸びと行動することを通して充実感・安定感を味わえるようにしている 	

② 自ら健康で安全な生活を作り出す力

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 健康で安全な行動がとれるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 危険な場所や遊び方について把握し安全に遊べる方法を園児が意識できるように伝えている 災害時の行動の仕方や散歩等を通して交通安全に対するルールを伝えている 	
2 様々な遊びを通して自ら健康で安全な行動がとれるよう促している	<ul style="list-style-type: none"> 園児の自発的な行動を温かく見守り、励ましたり、手を添えたりしながら、やり遂げたことに共感している 様々な体験を通して危険なことが分かり安全意識が芽生えるようにしている 	
3 自ら健康で安全な生活を作り出せるよう促している	<ul style="list-style-type: none"> 自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ見通しをもって行動し、ゆとりを持って生活できるようにしている 	

③ 環境の工夫(導線等の配慮)

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 園児の興味や関心が戸外にも向くように心掛けている	<ul style="list-style-type: none"> 園児の興味や関心の広がりに応じて行動範囲が広がることを考慮して、子どもの導線を考え安全に配慮している 園外保育や散歩の時に子どもの動きの導線を考えている 	
2 戸外遊びでの、子どもの導線に配慮した環境の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> 戸外で走り回ったり、飛び跳ねたりして全身を思い切り使う活動を展開できるよう導線に配慮し環境を整えている 園児が取り組んでみたいと思えるように園内の遊具や用具を配置したり整備したりしている 	
3 遊びのイメージが広がったり異年齢の園児が安定して活動したりできるよう、環境を工夫している	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の戸外(公園や広場等)で過ごす機会を持ち、心地よさが味わえるようにしている 年齢の異なる園児等、多くの園児が同じ場所で安定した活動や交流の場となるよう必要に応じて見直している 	

2. 人間関係・・・保育教諭等との信頼関係をもとに

① 保育教諭等や友達と活動する場

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 保育教諭等と一緒に遊んで楽しいと思える場を作っている	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の遊びに寄り添い、保育教諭が園児に遊びの楽しさを伝えている 	
2 友達と一緒に遊んで楽しいと思える活動の場を作っている	<ul style="list-style-type: none"> ペアやグループで活動する遊びを提供している 園児が遊びを、誰とどう楽しんでいるか、子どもの関係を分析理解している 	
3 「楽しいな」「うれしいな」「また遊びたいな」と思える活動の場を作っている	<ul style="list-style-type: none"> 園児のつながりが持てるような環境作りや言葉掛けを行っている 園児の主体性や考えを引き出したワクワクする遊びを構成しながら、内容の充実・展開できる場を提供している 	

② 園児の気持ちに寄り添う

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 園児の行動や思いをありのままに認めている	<ul style="list-style-type: none"> 個性や違いを肯定的に受け止めようとしている 園児がありのままの自分を出せる雰囲気作りをしている 	
2 園児の気持ちに寄り添い共感している	<ul style="list-style-type: none"> 表情やしぐさ行動等から出している気持ちを肯定的に(温かい眼差しや微笑み、うなずき等)受け止めている 園児が主体性を発揮し、自ら興味や関心が持てるようにしている 園児の理解を深めるために他の職員の意見も参考にしながら、自分にはない視点を取り入れている 	
3 園児の行動や思いをありのまま認め、園児の行動をじっくり見守り、友達との関係を深めていく	<ul style="list-style-type: none"> 周りから否定されるような行動がある場合には、思いを聴きながら園児の背景も考え、友達と考える機会を大切にしている 言葉にならない思いや行動をより意識して汲み取り、言葉に表して周りの園児にも伝えている 	

③ 仲間づくり

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 園児一人一人を大切に教育・保育をしている	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人がかけがえのない存在であると捉えている 否定的に見られがちな行動にも意味があると捉えて、一方的に怒ったり否定しないで、理解し関わっている 	
2 友達と関わる中で、互いの気持ちに共感し合い、人と関わる力を育てるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 園児が自分の思いを出したり相手の思いを聴いたりする場を設定している 思いが伝わりにくい時は、「〇〇ちゃんが～と言っているよ」「もう一回言ってみたら？」等、伝える方法を知らせ、園児同士で思いが伝わる喜びを感じられるようにしている 	
3 友達と積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し、人と関わる力を育む仲間づくりをしている	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人のよさや特徴が生かされる仲間作りをしている 相手の気持ちに気付き「どうしたの」「一緒に考えよう」等、言い合えるようにしている 	

④ やり遂げる喜び

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 自ら行動する力を育てるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 自分が思ったことができる喜びを持たせる 安全面に配慮しながら、しようとしていることを見守っている 	
2 友達と活動する楽しさを味わえるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に遊ぶことが楽しいと思う時間を保障している 友達と協力したり力を合わせたりすることで、楽しさを共感し満足感や達成感を感じられるようにしている 	
3 自ら行動する力を育て、友達と協力し合う喜びを味わえるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> グループや小集団での遊びを計画し、失敗したり成功したりいろいろな経験をさせている 協力すればやり遂げられる経験を積み重ねていけるような活動を意図的に設定している 	

⑤ 信頼感やおもいやり

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 友達との関わりの中で、相手には気持ちや思いがあることを知る機会を設けている	<ul style="list-style-type: none"> 友達とのやり取りを通して異なる思いや考えに気付く経験ができるようにしている 活動の中で、大人が全て決めてしまうのではなく、園児同士で「〇〇がしたい」と思いを出し合う場を作っている 	
2 生活遊びの中で喜びや葛藤、つまずき等が体験できる場を大切にしている	<ul style="list-style-type: none"> 心地よいと感じられる経験や喜び合う経験を多く持てるようにしている いろいろな意見があることを園児達の実感できるように、それぞれの想いを整理して伝えている 	
3 人に対する信頼感や思いやりの気持ちが育つようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 保育教諭等や友達に受け入れられる喜びや安心感を持つ経験を積み重ね、相手を信頼したり思いやったり、また共感したりする場を提供している 違った意見があっても、園児同士が互いを思いやり一人一人の意見を肯定的に受け止めることを大事にしている 	

⑥ 調整する力(道徳性・規範意識の芽生え)

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 一人一人の思いや気持ちを主張できるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 園児が気持ちを受け止める環境作り(人的環境)をしている 一人一人の発達や状況に合わせた話し合いの環境(人数、内容等)を整えている 	
2 折り合いをつける体験をする中で、生活や遊びのきまりの必要性等に気付けるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 様々な体験を通して、きまりを守ると友達と楽しく過ごせることに気付くようにしている 思いを伝え合い、互いに納得して気持ちの立て直しができるようにしたり、仲立ちをしたりすることを意識している 自分の思いが通らない経験等、葛藤している時間を大事にし、園児の気持ちに寄り添っている 	
3 互いに思いを主張し、折り合うことの必要性等に気づき、自分の気持ちを調整する力が育つようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 役割分担や遊び方等、話し合いで互いの意見を交換し、より遊びが楽しくなる方法を考えていくように方向づけている ルールを決めることの大切さを実感できるように、園児と一緒に過程や経過を振り返る時間を持っている 	

⑦ 異年齢・地域・高齢者交流

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 異年齢・地域・高齢者交流をしている	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢・地域・高齢者との交流の必要性を理解し知り合う場や機会を持っている 一つ一つの交流にねらいを持って年間計画を立てている 	
2 異年齢交流等との関わりの中で、共に楽しみ、共感し合う体験ができるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 交流の参加者が楽しめるような企画を考え、肯定的なイメージになるように配慮している 「待ってくれている」「喜んでくれている」等の実感が持てる交流になるように、園児達に言葉掛けしたり、活動を引き出したりしている 	
3 いろいろな体験を通して、人と関わることの楽しさや人の役に立つ喜びを味わえるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 園児が主体的に動けるよう、活動や内容(相手が楽しめるような遊びを考える)を園児達と一緒に考えている 	

3. 環境・・・園児の興味を引き出すような環境づくりをもとに

① 環境への好奇心・探究心

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持てるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 園内や地域の自然と触れ合う機会を作っている 日々の遊びや生活に必要な物や動植物が、身近に置かれている等環境を整えている 	
2 様々な環境に、自ら関わるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に関われるような機会を設けている 何に興味や関心を持っているかを捉え、いろいろな方法(図鑑調べ等)を準備して、園児自身が「もっと知りたい」と思って行動できるように働き掛けている 	
3 様々な環境に自ら関わり、発見を楽しんだり、考えたりできる機会を作っている	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな経験ができるよう意図的・計画的に環境を構成している 身近な環境を遊びや生活の中に、主体的に取り入れていけるような工夫をしている 	

② 自ら考えようとする力

項目		詳細項目(チェックポイント)	評価
1	友達の考え等に触れる場を設けている	・ 園児の興味や関心、発想の仕方、考え方等を保育教諭等が肯定的に受け止め、園児が互いの考えに触れることができるような機会を設けている	
2	新しい考えを生み出す喜びを味わえるようにしている	・ 友達の考えに刺激を受け、自分の発想しなかったことに気付き、新しい考えを生み出す過程を大事にしている	
3	自ら考えようとする主体的で意欲的な気持ちが育つようにしている	・ 友達と一緒に考え、試したり工夫したりする中で、考えることの楽しさや喜びに気付き、友達と「もっとうしてみよう」と、主体的に工夫する姿を大事にしている	

③ 自然との関わり

項目		詳細項目(チェックポイント)	評価
1	身近に自然の事象があることを知らせる	・ 園児の身の回りにある自然の様々な事象に触れる機会を作っている	
2	自然との関わりを深め、その不思議さ等に直接触れる体験ができるようにしている	・ 自然と触れ合う体験を十分に得られるように園内の自然環境を整えている ・ 季節感のある遊びを取り入れながら、季節の変化に気付き、文化や伝統行事に親しむ機会を設けている	
3	自然の大きさ、美しさ、不思議さ等に直接触れる体験を通して、豊かな感情、表現力の基礎が培われるように工夫している	・ 園外遊び(散歩・遠足等)で季節の変化を感じ取り、自然現象や社会現象への関心が豊かになるような遊びの工夫をしている ・ 保育教諭自らも感性を豊かに保ち、自然の素晴らしさを園児と共感し、発見する喜びや感動体験を積み重ねている。	

④ 生命を大切にしている気持ち

項目		詳細項目(チェックポイント)	評価
1	身近な事象や動植物に対する興味や関心を持つような機会を設けている	・ 飼育や栽培活動を生活や遊びの中に取り入れている ・ 保育教諭等と一緒に、親しみやすい動植物に触れ、世話をしている ・ 生き物の特性が分かり、飼育方法に関心が向けられるようにしている	
2	身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うような取り組みを行っている	・ 動植物が成長する喜びを通して、生命の営み、誕生や終わりの不思議さを体験することで、感動を伝え合うようにしている ・ 皆と一緒に育てたから、大切にしなければならぬという気持ちを育てるような活動をしている	
3	動植物への親しみや畏敬の念、生命を大切にしている気持ち、公共心、探究心等が養われるようにしている	・ 自分と違う生命の存在を知り、生命の大切さや素晴らしさに興味を深め、発見や探求するように働き掛ける ・ 動植物の死に対する悲しみや辛い気持ちを通して生命を大切にしている気持ちや畏敬の念に気付かせていく	

⑤ 数量や文字への興味・関心

項目		詳細項目(チェックポイント)	評価
1	簡単な数量や文字に関心が持てるようにしている(数量・図形・標識・文字)	・ 遊びや生活の中で、文字を使ったり数量に関心を持ったりするような環境を取り入れている	
2	生活や遊びを通して、楽しみながら数量や文字等に関する興味や関心が持てるように工夫している	・ 数えたり量ったりする便利さや必要感に気付き、数量を扱ったりする活動を積み重ねている(分ける、数えるなどの経験) ・ 生活の中で文字等を使った環境や遊びを豊かに積み重ねている	
3	友達と楽しみながら、数量や文字等に関する感覚が養われるようにしている	・ 文字・図形・記号を使って楽しみたいという関心を十分に広げ感覚が豊かになるように工夫している	

4. 言葉

① 応答的関わり

項目		詳細項目(チェックポイント)	評価
1	園児の伝えていること(言語・非言語)を受け止めている	・ 園児と目線を合わせてうなずいたり、返事をしたりして、安心して話ができるような雰囲気を作っている	
2	園児の伝えたい気持ちや思い(言葉だけでなく、身振りや表情、仕草等)を充分受け止めている	・ 園児の気持ちや思いを「〇〇が嫌だったの?」「こうしたかったの?」等、具体的な言葉に置き換えて伝えたい思いを聞いている	
3	園児が、主体的に話したい、伝えたい、聞いてみたいと思うような応答的な関わりや、話し掛けをしている	・ 「楽しいな」「もう一回しよう」という体験を積み重ねて、自ら思いを表現したくなるように活動を展開している	

② 言葉による伝え合い

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 保育教諭等や友達の話に興味を持って聞く経験ができるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 園児が安心して話ができるよう配慮し、落ち着いて話ができる場作りをしている 園児が相手の話を注意して聞けるように言葉掛けを行っている 日々の生活の中で保育教諭等が園児の伝え合いのモデルになっていることを自覚している 	
2 言葉で自分の気持ちを表現できるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 園児の背後にある思いを受け止めて、どうしたら思いが伝わるか、園児と一緒に表現方法を考えている 	
3 友達への気持ちや思いを互いに言葉による伝え合いができるように配慮している	<ul style="list-style-type: none"> 言葉で伝え合うことで、聞いてもらう喜びを感じ合えるように配慮している 豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことの伝え合いを楽しむような取り組みにつなげている 	

③ 言葉に対する感覚

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 絵本や物語の内容と自らの経験を結び付ける楽しさを味わうようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 興味関心がある絵本や遊び(言葉あそび等)を知っている 園児の遊びや生活経験の違いを理解している 園児なりの感じ方や楽しみ方を受け止めている 	
2 絵本や物語の内容と自らの経験を結び付けたり、想像を巡らせたりする楽しさを味わえるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 共通の経験ができる遊びや生活を設定している 共通の経験に結びついた絵本や物語を用意している 	
3 豊かなイメージを持ち、言葉に対する感覚が養われるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 絵本や物語の内容と園生活の経験に結び付けたり、想像を巡らせたりするようなごっこ遊びや劇遊び等でイメージを育て、様々な表現を引き出している 	

④ 伝える喜び・楽しさ(記号等)

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 生活や遊びの中で、文字、絵、標識等の記号に触れる機会を持っている	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて園児達が分かりやすいように視覚的な物(マークシート、写真、絵、文字等)を準備している 	
2 記号等を使いながら、思ったこと等を伝える経験ができるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 園児の話したい、表現したい、伝えたいという気持ちを文字や絵等で伝える活動をしている 	
3 記号等を使いながら、伝える喜びや楽しさを味わえるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で、触れてきた文字や絵等を使うことで、伝わっていく面白さや楽しさが感じられる活動を設定している 	

5. 表現

① 豊かな感性

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 一人一人が感動や発見に出逢える様な環境を設定し、その感動や発見に共感している	<ul style="list-style-type: none"> 身近な動植物や季節の変化に触れられる環境を作っている 園児自身が「おもしろそう」「楽しそう」「やってみよう」と思える環境や遊び・活動を設定している 生活の中で様々な音・形・数・色・手触り・動き等に気付いたり、感じたりする機会を作っている 自然や身近な人等、環境を通して感じたことや体験したことを自分なりに表現する姿に対して必ず応答している 	
2 身近な環境に関わる中で、一人一人の感動や発見を積極的に受け止め、その園児なりの表現を引き出している	<ul style="list-style-type: none"> 園児の疑問に対して共に考え追及できる環境を整えている 身近な環境に関わって直接五感を通して様々な経験の中で発見をする機会を作っている 個々の楽しみ方・おもしろさ・発見したことを肯定的に受け止め、すごいと思うところを具体的な言葉にかえて認めている 	
3 試行錯誤しながら自分なりに表現することを通して、豊かな感性を養うようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 興味のあることや発見したことを試行錯誤しながらやりとげる時間や素材・用具等の環境を整えている 心動かす出来事や遊びの中で一人一人の遊び方・楽しみ方に寄り添いそれぞれの遊びを保障している 	

② 様々な表現

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 園児の表現しようとする気持ちや姿に共感している	<ul style="list-style-type: none"> 園児が表現しようとしている思いに寄り添い受け止めている 	
2 様々な表現を楽しむことができるような遊びを工夫・提供・提案している	<ul style="list-style-type: none"> 活動や遊びを通して様々な表現方法を経験する機会を作っている 一年中同じ環境設定ではなく、園児の興味や年齢・発達・季節等に応じて変化させている(絵本・玩具・素材・ままごとコーナー等) 	
3 園児の表現しようとする感性を積極的に受け止め、生活や遊びの中で、楽しむことができるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 園児がおもしろいと感じている遊びを発展させるために、様々な素材や道具を使って、園児達と共に考え作り出している 形・色・感触・香り等それぞれが持つ性質や形態・特徴を捉えられるように、発見したことを園児同士で伝え合う場を意図的に作っている 操作する遊びから生活再現遊び・みたくやつもり遊び・ごっこや役割遊びへと発展できるように教育・保育を展開している 	

③ 自己表現

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 表現を豊かにする環境としての遊びや素材を用意したり、自己表現を楽しめたりするようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 園児が興味をもって友達と関わって遊べるコーナーをいくつか作っている 得意なことや誰もが無条件に楽しいと思える遊びを取り入れて共に楽しんでいる 	
2 自己表現を楽しむ中で、友達に表現に触れられるように配慮している	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の表現をおもしろいと感じ、周りの園児にも伝え、遊びにつなげ展開している 友達と関わる中で、感じ方・表現の違いに気づき知り合っていく機会を意識して設けている 	
3 個々が自信をもって自己表現する過程や、友達との表現の違いを認め合うことを大切にしている	<ul style="list-style-type: none"> 園児の経験する悔しさ・戸惑い・誇らしさ等を丁寧に受け止め、思いに沿った言葉掛けや関わりを行い園児の意欲を支援している 否定的な言葉や関わりに対して「なぜそう思うのか?」と投げ掛け、園児同士が知り合う機会につなげている 	

第3章 健康及び安全

1. 健康支援

① 園児の健康状態把握

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 園児の健康状態を定期的に観察している	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の視診をしている 発育測定をしている 	
2 園児の健康状態を観察し把握している	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断等を通して園医と連携している 	
3 健康状態や発達状況について継続的に観察し、把握している	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に健康への支援を求める働き掛けをしている 保護者の協力、連携の基に健康支援を行っている 	

② 基本的な生活習慣の自立に向けての指導援助

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 学校保健安全法を知っている	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健安全法の概要を理解している 	
2 学校保健安全法の基、発育・発達に応じた、基本的な生活習慣の自立に向けての状態を把握している	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の生活リズムや食習慣等の実態を把握し、援助している 	
3 基本的な生活習慣の自立に向けて、計画を立て援助している	<ul style="list-style-type: none"> 園児の実態に基づいた年間計画を立て、保健の活動についての記録評価を行い、改善に努めている(学校保健計画) 日々の生活の中で、個々の自立に向けた援助を保護者と連携しながら行っている 	

③ 個別的配慮が必要な園児の状態把握

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 個別的配慮が必要な園児について、全職員で共通理解している	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初や必要に応じて職員会議等で確認している 食物アレルギー児の一覧表を配布し、配膳室や食事をする部屋に掲示している 	
2 アレルギー児・医療的ケア児等について、状態を把握し対応している	<ul style="list-style-type: none"> 口頭や視覚等で複数での対応を行っている マニュアルに基づき役割分担し、職員全体で適切な対応を行っている 	
3 保護者や関係機関と連携し状態を把握し対応を行っている	<ul style="list-style-type: none"> 園児の状況等について情報を共有し、必要な支援を行っている 対応に必要な知識と技術を身に付ける等、資質の向上に努めている 	

④ 体調不良

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 体調不良や怪我があった時は、園長等に報告・連絡の対応を行っている	<ul style="list-style-type: none"> マニュアルを活用し、状況に応じて処置を行なっている 園長等にその時の状況を速やかに報告している 	
2 職員全体で連携し適切な対応を行っている	<ul style="list-style-type: none"> 体調不良等の対応の仕方を職員間で共通理解し対応している 園児が安静に保てる環境を整え、経過観察を行っている 	
3 施設全体で連携し対応に当たると共に、保護者に対して適切な説明を行う等の対応を行っている	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で情報共有を行い連携し、保護者に対して理解を得るような適切な説明(その時の状況・対応対処等)を行っている 	

⑤ 衛生管理・環境保持

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 学校環境衛生基準を理解し、衛生管理に配慮している	<ul style="list-style-type: none"> 学校環境衛生基準の概要を理解している 常に清掃やおもちゃ等の消毒をしている 	
2 清潔な環境が常に維持できるように職員と連携し行っている	<ul style="list-style-type: none"> 温度計・湿度計・空気清浄器を常設している 定期的に点検を行っている 	
3 温度・湿度・換気・採光・音等を常に適切な状態に保持し、衛生管理にも配慮し職員全体で取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> 園児が安全・快適に過ごせる環境を整えている 感染症につながらないよう留意し、必要に応じて清掃や消毒を行っている 	

2. 安全管理(学校安全計画・危機管理マニュアル)

① 災害等に備え、施設・設備等の安全点検・管理

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 毎月、安全点検を行っている	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、クラス用、施設全体の安全点検を行い不備について報告している 	
2 室内外の設備等の、安全点検を毎月行い、その結果について職員が把握し改善に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 点検した上で修理や改善に対する要望・依頼をしている 必要に応じて、点検項目を見直している 	
3 災害等の発生に備えると共に、安全点検を行い防火設備・避難経路等の安全管理に配慮している	<ul style="list-style-type: none"> 避難経路の確保をし、定期的に確認をしている(避難経路に物が置かれていないか、物品が高く積まれて危険がないか等々) 災害時等に必要な備品や書類(視診表や救急かばん等)を状況に応じて持ち出せるようにしている 	

② 園外保育の安全について

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 園児が日常的に利用する散歩経路等の状況を把握している	<ul style="list-style-type: none"> 散歩マップを作成している 散歩経路の交通量や歩道の有無等、情報を収集している 	
2 園児が日常的に利用する公園等についての地域状況を収集している	<ul style="list-style-type: none"> 年齢や園児の状況に応じた遊具等の確認を行っている トイレ等の設置確認を行っている 不審者等の情報収集を行っている 	
3 散歩経路や公園及びの地域状況について、安全に配慮するように努めている	<ul style="list-style-type: none"> 園の携帯電話を所持し、常に連絡を取れる状態にしている 事前に園児への安全指導を行なっている 	

③ 避難訓練

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 定期的に避難訓練を実施している(多面的な想定をした内容、時間等に配慮必要)	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画を立て避難訓練を実施している 避難経路を確認している 	
2 定期的な避難訓練を職員間で役割分担を行い実施し、振り返りを行っている	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の計画に沿って実施案を作成し、事前に役割分担の確認を行っている 安全点検実施点検表を基に、事後に振り返りを行っている 	
3 避難訓練の実施後、職員間で確認を行い、保護者や地域連携に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 事後の反省をもとに職員間で共有し、改善を行っている 地域や保護者と一緒に、避難訓練を行っている 	

④ 事故防止への対応

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 全職員で事故防止マニュアルを把握している	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初に、会議等で全職員が事故防止マニュアルの読み合わせ等の確認を行っている 	
2 緊急時には、職員間で連携しマニュアルに沿って対応を行っている	<ul style="list-style-type: none"> 役割を認識し速やかに対応している 事故につながる可能性があることに気付いた時は、職員間で確認している(睡眠中の対応・プール水遊びの対応・食事中の対応等) 	
3 全職員で事故防止に努め、緊急時のマニュアルに沿って対応し、保護者に説明を行っている	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に理解を得られる説明を、迅速かつ適切に行っている 事後の対応においては、事務所と連携し丁寧に対応している 	

3. 食育の推進

① 食に関わる体験

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 生活や遊びの中で、食に関わる体験を意識して行うようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 色々な食材に触れる機会を作っている 菜園活動を行っている クッキング活動を行っている 	
2 食に関わる体験を園児自ら期待を持って取り組めるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 成長を喜び合える機会を作っている 調理員等との関わりを意識して、調理過程の一部を手伝う等の機会を設けている 調理をする人への感謝の気持ちが育つように働き掛けている 	
3 体験学習等を通して、自然の恵みとしての食材に感謝することを伝えている	<ul style="list-style-type: none"> 健康に関して、食への興味や関心が高まる活動をしている 食に関する絵本を意識して保育の中に取り入れている 実践や絵本等を通して、食材や食の循環・環境を伝える取り組みを行っている 	

② 食育計画

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 食に対して園児が取り組める食育計画を立てている	<ul style="list-style-type: none"> 園児が食べることを楽しめるような計画を立てている 園児の発達・食文化・行事食等に応じた食育の年間計画を立てている 	
2 園児が主体的に取り組めるよう、教育・保育の中で位置づけている	<ul style="list-style-type: none"> 食育計画を基に実践を行っている 五感を通じた発見や経験ができるような実践をしている 	
3 食育計画を進める中でその評価や改善に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 園児主体の取り組みかどうか実践の振り返りを行い、評価・反省・改善につなげている 	

③ 食育推進

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 食育についての取り組みを保護者に伝えている	<ul style="list-style-type: none"> クラスノートやお知らせボード等で、園児の食育活動を伝えている 	
2 食育の取り組みを保護者や地域に発信している	<ul style="list-style-type: none"> 離乳食紹介やおやつ講座等を実施している 園便り等で取り組みを知らせている 	
3 食育の取り組みの大切さを保護者や地域に伝え、食生活に関する相談支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> 各々の役割において連携をしながら、相談支援を行う機会を設けている 相談内容によっては、食事の様子を見る機会を設けている 	

第4章 子育ての支援

1. 子育ての支援全般に関わる事項

① 保護者の自己決定の尊重

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 保護者の思いを聞いている	<ul style="list-style-type: none"> 様々な方法で、保護者とやり取りをしている 安心して話をするができる状態を保障している 	
2 保護者の思いを尊重し、状況を理解したうえで、アドバイスをしている	<ul style="list-style-type: none"> 様々な見方や考え方も積極的に紹介するよう配慮している 園での姿と家庭での姿を、共有している 成長している姿を共感し合い、保護者が子どもを認められる機会を設けている 	
3 保護者を受容しながら、アドバイスを行い、保護者自身が納得して解決できるよう見守っている	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が自分の思いを整理し自己決定できるまで、ゆっくり繰り返し話を聞くようにしている 機会を捉えて保護者に言葉掛けを行い、継続的な見守りを続けている 保護者の自己決定を受け止め、子育てへの意欲や自信につながるよう後押ししている 	

② 地域の専門機関等との連携及び協働

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 園児の置かれている状況・育ちに応じて、家庭と連携している	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて家庭訪問や面談をしている 保護者の困り感を受け止め、理解しようとしている 	
2 園児の状況に応じて、家庭や必要な専門機関等と連携している	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に、適切な専門機関を紹介している 自分の得た情報を周りと共有している 専門機関に園での姿を見てもらい、必要なアドバイスを受けている 	
3 こども家庭相談係や地域ネットワーク会議等との連携を深め重層的に支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> 地域のネットワーク会議等に参加し、必要な情報を共有している 地域の関係機関と保護者とをコーディネートしている 	

③ プライバシーの保護及び秘密保持

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 園児又はその家族の個人的な情報を守ることを理解している	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護法に基づき、守秘義務の重要性を認識している 守秘義務違反には、厳しい罰則があることを知っている。 個人情報は園外に持ち出さないようにしている 	
2 個人的な情報を守り、地域の関係機関と連携している	<ul style="list-style-type: none"> 共有すべき情報かどうかを見極めている 保護者の許可を得たうえで、園長に相談し、関係機関と情報の共有を行っている 	
3 地域の関係機関と連携を図り、守秘義務を守り、必要な協力が得られるよう努めている	<ul style="list-style-type: none"> 連携を図り新しい情報を得る中でも、秘密を保持している 園内外の情報の発信については、使用する意図を明確にし保護者の承諾を得ている 	

2. 園児の保護者に対する支援

① 教育及び保育の内容等の情報提供

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 園の教育・保育の理念、方針、内容、方法等に関し、必要に応じた情報提供等を心掛けている	<ul style="list-style-type: none"> 園児達の日々の様子を、いろいろな形(おたより、懇談会等)で伝えている こども園教育要領の内容等も園方針と絡め提供している 	
2 日頃から園児の日々の様子等、様々な機会を通して情報提供を行なっている	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が分かりやすいよう、具体的に園児の姿を伝え、園の保育のねらいや内容がどんな力につながっているかを、発信している 	
3 日常の様々な情報提供を通じて、保護者との相互理解を図るようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 発信した教育、保育内容の情報の意図が保護者に正しく伝えられているか確認している 保護者が園の教育内容を理解して、家庭でも実践できるように具体例を示したり声を掛けたりしている 	

② 保護者の関係作り

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 保護者同士の関係作りを促すようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士や互いの園児が分かるような機会を設けている 行事を行う時は参加しやすい時間帯や日程の調整を行っている 	
2 保護者同士が知り合える場や、話ができる機会を持っている	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士をつないでいけるような情報を共有している 保護者参加の意義や目的を分かりやすく伝え参加を促している 	
3 生活形態等の多様性を保護者同士が互いに知り合い、保護者自身の新たな気づきや学びにつながっていくように配慮している	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の多様な生活形態を踏まえ、知り合える場を設定し、話ができる機会を持っている 保護者同士が相互理解を深め、共に子育てができるような配慮や工夫をしている 	

③ 延長保育(一時預かり事業)

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 保育教諭間及び家庭と連携し、状況を考慮しながら保育を行っている	<ul style="list-style-type: none"> 園児の心身の状況を把握している 保育教諭間の連携を確実にするために、連絡ノート等を用いて引継ぎをしている 	
2 園児の心身の負担に配慮しながら、活動内容を工夫している	<ul style="list-style-type: none"> 園児の状況を保護者と共有し、保護者が安心して預けられるようにしている 	
3 家庭との連携を密にし、生活の連続性が保障できるようにしている	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の状況を丁寧に把握し、一人一人の生活リズムや活動を考えている 安心して豊かな時間を過ごせるように工夫している 	

④ 不適切な養育等や虐待の早期発見と適切な対応

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 園児の観察から、虐待等の早期発見に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 園児の声にしっかり耳を傾け異変がないかチェックしている 気付いたことを園長に報告し、共有する機会を持つようにしている 	
2 きめ細かい園児の観察から、不適切な養育の兆候が見られる場合、他機関と連携している	<ul style="list-style-type: none"> 虐待等がみられる場合は、早急に園長に相談し、判断を確認し、園として対応している 虐待に関する事実関係を具体的に記録している 	
3 園児の最善の利益を重視し他機関と連携・協働しながら適切な対応を行っている	<ul style="list-style-type: none"> 各機関とケース会議を持っている こども園の役割を意識して対応している 保護者と話し合う機会を持ち、気持ちに寄り添っている 	

3. 地域における子育て家庭に対する支援

① 場の提供

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 親子が安心して利用できる場を提供している	<ul style="list-style-type: none"> 地域の親子に声を掛け、安心して遊べるようにしている 子育てに関する情報を知らせている 	
2 共に遊んだり相談したり、参加できる場を提供している	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士が会話を楽しみ、子育ての仲間作りができるような配慮をしている 様子を見ながら声を掛け遊びに誘い掛けている 	
3 園児も地域の子どもも、共に育つ場としての活動を工夫している	<ul style="list-style-type: none"> 行事や教育・保育体験への参加等の機会を持ち、共に遊んだり相談したり、親子が安心して利用できる場を積極的に提供している 	

② 地域での情報提供

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 地域住民に対して一定の情報を提供している	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな機関から得た情報を見やすく掲示している 	
2 地域住民に対して身近な情報を必要に応じて提供している	<ul style="list-style-type: none"> 園に招いた人の意見を保育に反映させている 	
3 地域住民に対して、身近な情報を定期的に様々な方法で適切に紹介・提供している	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方を招いたり、地域に出向いたりして、園児との交流の場を持っている 	

③ 緊急一時保育における教育及び保育

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 緊急一時保育において、一人一人の園児の心身の状態を把握しながら教育及び保育をしている	<ul style="list-style-type: none"> 緊急一時保育のマニュアルを理解している 園児が安心して生活できるようにしている 	
2 その園児の状況に合わせた教育・保育を心掛け、様子を伝えている	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が安心して預けられるようにしている 園での生活を伝えたり、家庭での様子を聞いたりしている 	
3 園児の心身の状態を十分に把握し、その園児の状況に適した柔軟な教育及び保育を工夫している	<ul style="list-style-type: none"> 友達と触れ合う機会や場所を工夫し、活動を共に楽しめるようにしている 	

④ 地域の資源(自然、人材、行事等)の活用

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 地域の資源(自然、人材、行事等)活用の必要を感じている	<ul style="list-style-type: none"> 地域にどのような資源(自然、人材、行事等)があるのか、情報を集めるようにしている 	
2 地域の資源を取り入れながら、園児が豊かな体験を得られる機会を設けている	<ul style="list-style-type: none"> 地域の学校や施設と連携を取り合い、交流を持つようにしている 	
3 地域の資源を積極的に活用し、その様々な力を引き出しながら、園児が豊かな体験を得られる機会を設けている	<ul style="list-style-type: none"> 地域と出会い、つながり合うことで、共に地域の活性化を図るようにしている 互いに成長や触れ合う喜びを感じられるように、意識を持って接している 	

その他：職員の資質の向上

1. 人権保育基本方針及び豊中市子ども健やか育み条例

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 「豊中市人権保育基本方針」及び「豊中市子ども健やか育み条例」を知っている	<ul style="list-style-type: none"> 豊中市人権保育基本方針を読んだことがある 豊中市子ども健やか育み条例を知っている 	
2 教育・保育を通して自己の感性や価値観、言動を振り返っている	<ul style="list-style-type: none"> 園児の人権を尊重して教育・保育を進めている 園内の人権研修等で自分自身の価値観と向き合い言動や関わりを振り返っている 	
3 共生社会の推進と共に、人権保育基本方針や条例に基づいた人権を尊重した教育・保育を心掛け推進している	<ul style="list-style-type: none"> 人権保育を推進することを意識して教育・保育を行っている 行事や日々の教育・保育を通して現状や課題・ねらいを職員間で議論し、保護者や園児と共に人権保育について考える機会を作っている 	

2. 職員間での子ども理解

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 子どもの最善の利益を考慮した「子ども一人一人を大切に保育」という事はこういった事を、それぞれの職務の役割で考える	<ul style="list-style-type: none"> 園児との関わりを積極的に行っている 園児達が心地よく過ごせるよう工夫を重ねている 子どもの最善の利益を考えた上で職務に専念している 	
2 園児が求めている事や思いを理解し心が通い合うように、それぞれの職務の役割で努力している	<ul style="list-style-type: none"> 職員それぞれの専門性を活かして(食育・健康面等)園児の興味が広がる工夫を常にしている 	
3 職員は、子ども理解に努め、職員間で忌憚なく意見を交流し、それぞれの職務の役割を活かしながら、子どもの成長支援に努める	<ul style="list-style-type: none"> クラスと連携を取りながら、専門性を活かした活動を計画的に行っている 園児の背景や課題を職員間で共有している 	

3. こども園でのキャリア

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 保育教諭等が専門性の重要性を意識している	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画に基づいて、それぞれが職務に専念している 専門性やスキルの向上を意識している 	
2 「職務を適切に遂行していく」とはどういった事が理解し、職員全体の一人としての役割を担っている	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の状況に応じて、他の職員のサポートや代行をしている こども園の中で自分の専門性を活かす場面がある 職種の違いを共に尊重し合いながら協力体制を作っている 	
3 職員が協働しながら、職務及び責任を自覚し、役割をしっかりと担っている	<ul style="list-style-type: none"> キャリアとしての調整能力を育てている 職員が自覚し、園長を中心としたこども園の運営に協働性を発揮している 職員間で連携を図りながら、一人一人が役割を担って進められるよう工夫している 	

4. 園内研修

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 目的や自己課題を持って研修に参加している	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前にその内容を確認して、自己課題を持って参加している ・ 研修内容を検討する際に、自分の学びたいことや意見を反映している 	
2 現状を分析したり課題を出し合ったりして議論し、研鑽を重ねている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修後は、職員間で学びを活かして実践している ・ 振り返りシートを活用して自分の実践に取り入れている 	
3 課題の解決に向けて、意欲が高まるような研修計画を作成し、職員間で相互に学びを深めていく	<ul style="list-style-type: none"> ・ どう実践したのかを報告し合う場を作り、新たな課題に沿った研修計画等を作成している ・ 教育保育の成果と課題を見直し、さらに研修を深めている 	

外部研修

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 積極的に研修に参加している	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会や研究会には、その内容を確認し、自己課題を持って参加している ・ 園の代表を意識して参加し学びにつなげている 	
2 学んだ内容を理解し自らを振り返っている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会後は、自分なりの考えをまとめ自らの教育・保育を振り返っている(振り返りシート～実践へ) 	
3 必要な知識および技能を身につけられるよう努め、学んだ内容を他の職員に共通のものとして発信している	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修内容の理解を深め、他の職員への発信や園内共有を行い実践につなげている ・ 常に最新の情報の獲得に努めている 	

5. 関係者評価の取り組み

項目	詳細項目(チェックポイント)	評価
1 評議員会等の他者の評価を受ける機会を設けている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員会を開催する目的を知っている ・ 公開保育を通して園児の姿や園で大事にしていることを伝える場を設けている ・ 保護者懇談会や保護者アンケートを実施している 	
2 他者の評価内容を具体的に職員間で把握している	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園評価を個々の課題と捉え、職員間で共有し改善に努めている 	
3 他者の評価から見えてきた課題を共有し、次につなげるよう努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園全体のPDCAサイクルを意識しながら職員同士連携・協力体制を作っている ・ 教育・保育の過程やその課題を明確に可視化・言語化するよう等、明確になるように努めている ・ 自己評価を行うと同時に「豊中市教育保育環境ガイドライン」を活用し、質の向上に努めている 	

